

# ならしん景気動向調査レポート

(第28回) 2021年 11月期

奈良信用金庫 支店部 奈良県大和郡山市南郡山町529-6

TEL (0743-54-3116) URL <https://www.narashin.co.jp>

1. 調査期間..... 2021年11月
2. 調査時点..... 2021年11月
3. 調査対象..... 当金庫取引事業先  
※対象先は任意に選定(毎年一部見直し)
4. 調査方法..... 往訪面談・電話等によるヒアリング調査
5. 回答状況

	対象先数	回答先数	回答率
製造業	37	37	100.0%
不動産業	17	17	100.0%
サービス業	14	14	100.0%
卸売・小売業	31	30	96.8%
建設業	14	14	100.0%
運輸業	9	9	100.0%
医療・福祉	12	11	91.7%
全業種合計	134	132	98.5%

当金庫でお取引をいただいている事業先から業種に偏りのないよう134社を任意に選定させていただき、最近の業況・資金繰り等、景気動向に関連するアンケート項目の聞き取りについて、ご協力をお願いいたしました。  
うち、132社よりご回答を賜りました。

# 今回調査結果一覧

2021年11月

全業種

				DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI
	対象先数	回答先数	回答率	業況	売上金額	収益	資金繰り	前年同期比売上	前年同期比収益	残業時間	人材
製造業	37	37	100.0%	-8.1%	-2.7%	-21.6%	2.7%	13.5%	8.1%	13.5%	-10.8%
不動産業	17	17	100.0%	23.5%	17.6%	23.5%	47.1%	41.2%	41.2%	5.9%	5.9%
サービス業	14	14	100.0%	-28.6%	-28.6%	-28.6%	14.3%	28.6%	7.1%	0.0%	0.0%
卸売・小売業	31	30	96.8%	-3.2%	0.0%	-12.9%	3.2%	6.5%	16.1%	19.4%	12.9%
建設業	14	14	100.0%	21.4%	7.1%	0.0%	28.6%	14.3%	14.3%	-7.1%	-28.6%
運輸業	9	9	100.0%	-11.1%	11.1%	-11.1%	11.1%	22.2%	22.2%	11.1%	0.0%
医療・福祉	12	11	91.7%	16.7%	41.7%	25.0%	41.7%	50.0%	58.3%	16.7%	-16.7%
全業種合計	134	132	98.5%	0.0%	3.7%	-7.5%	16.4%	20.9%	20.1%	10.4%	-3.7%

	借入実施		設備投資実施			
	あり	なし	あり	なし		
製造業	18	16	9	25		
不動産業	11	6	4	13		
サービス業	6	8	5	9		
卸売・小売業	16	14	7	23		
建設業	8	6	7	7		
運輸業	3	5	4	4		
医療・福祉	4	7	7	3		
全業種合計	66	62	43	84		

「DI」について

「diffusion index (ディフュージョン・インデックス)」の略で、景気・業況などの動きを示すものです。  
このレポートでは、お客さまからいただいたご回答のうち「良い」「やや良い」の割合から、「やや悪い」「悪い」の割合を引いたものを記載しています。

(例) 業況について ご回答 (5社)

A社	<u>(1) 良い</u>	(2) やや良い	(3) 普通	(4) やや悪い	(5) 悪い
B社	(1) 良い	<u>(2) やや良い</u>	(3) 普通	(4) やや悪い	(5) 悪い
C社	(1) 良い	(2) やや良い	<u>(3) 普通</u>	(4) やや悪い	(5) 悪い
D社	(1) 良い	(2) やや良い	(3) 普通	<u>(4) やや悪い</u>	(5) 悪い
E社	<u>(1) 良い</u>	(2) やや良い	(3) 普通	(4) やや悪い	(5) 悪い

$$DI = \left[ \frac{[(\text{良い} \times 2 + \text{やや良い} \times 1) \div 5社]}{[60.0\%]} \right] - \left[ \frac{[(\text{やや悪い} \times 1 + \text{悪い} \times 0) \div 5社]}{[20.0\%]} \right] = 40.0\%$$

全業種合計	対象先 134	回答先 132	回答率 98.5%
-------	---------	---------	-----------

全体  
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-9.9%	0.0%	9.9%	-7.6%	3.7%	11.4%	-12.2%	-7.5%	4.8%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
19.8%	16.4%	-3.4%	8.4%	20.9%	12.5%	9.9%	20.1%	10.2%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
14.5%	10.4%	-4.1%	5.3%	-3.7%	-9.1%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
48.4%	51.6%	3.2%	30.3%	33.9%	3.5%			

■概況 ※( )内はDI値

全業種合計の業況判断DIは前回調査時より9.9ポイント上昇し、中立に転じた。変化幅を上方へと向かわせたのは「不動産業」「建設業」「医療・福祉」という結果になった。

売上についても、前回調査時より11.4ポイントの上昇となり、良化傾向(3.7%)に転じた。変化幅を上方へと向かわせたのは主に「不動産業」「運輸業」「医療・福祉」という結果になった。

収益面についても前回調査時より4.8ポイントの上昇となり、悪化傾向(-7.5%)という結果になった。不動産業、医療・福祉業が上方へと向かわせる結果になった。

全体では多くの企業が「仕入高」「売上停滞・減少」を経営上の問題点として回答した。次点で「人手不足」「利益幅の縮小」と続いた。それらの解決策として「販路拡大」「経費削減」「人材確保」「技術力・営業力強化」「商品性の拡大」を当面の重点経営施策とし挙げる企業が多く見受けられた。特別調査では、アフターコロナに向けて重視する経営施策及び信用金庫に求めることについて企業に回答いただいた。アフターコロナに向けて重視する経営施策で最も回答が多かったのは「新規取引先や新たな販売チャネルの開拓」で47社であ次点で「人材育成の強化」「財務体質の強化」が続いた。信用金庫に求めることについては融資スタンスを求める企業が前回同様に55社と最も多く、事業課題の共有・相談が次いで48社となった。借入によって資金調達を行ったのは回答者全体の51.6%となり、前回は3.2ポイントの上昇となった。

全業種合計の前年同期比売上は前回調査時から12.5ポイント上昇した結果、良化傾向(20.9%)を維持。前年同期比の収益についても同様に10.2ポイント上昇し、こちらも良化傾向(20.1%)となった。

なお、設備投資を行ったのは全体の33.9%であり、前回調査時より3.5ポイント上昇した。

10-12月の業績・売上額・収益の見通しについては、前回調査時より全ての項目で「良い」「やや良い」「普通」と答えた企業は大幅に増加し、「やや悪い」「悪い」と答えた企業数は減少した。

■特別調査	アフターコロナに向けて重視する経営施策、および今後3ヶ月の業績見込みについて
アフターコロナを見据えた経営で重視する点について	(1)人材育成の強化44社 (2)デジタルを活用した業務プロセスの改善25社 (3)既存事業・製品・サービスの改良33社 (4)財務体質の強化41社 (5)新規取引先や新たな販売チャネルの開拓47社 (6)その他0社
信用金庫に求めること	(1)融資スタンス55社 (2)地域情報41社 (3)業界動向19社 (4)事業課題の共有・相談48社 (5)補助金等の情報29社 (6)事業回復に向けてのビジネスマッチング16社 (7)その他1社
業績(10-12月見込み)	「良い」7社、「やや良い」34社、「普通」75社、「やや悪い」16社、「悪い」1社
売上額(10-12月見込み)	「良い」6社、「やや良い」34社、「普通」78社、「やや悪い」14社、「悪い」1社
収益(10-12月見込み)	「良い」6社、「やや良い」31社、「普通」79社、「やや悪い」15社、「悪い」2社

業種別の概況・経営上の問題点・当面の対策・その他特別に調査した項目については、次ページ以降に内容を記載しております。

業種別  
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-25.6%	-8.1%	17.5%	-25.6%	-2.7%	22.9%	-28.2%	-21.6%	6.6%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
20.5%	2.7%	-17.8%	-7.7%	13.5%	21.2%	-7.7%	8.1%	15.8%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
10.3%	13.5%	3.3%	0.0%	-10.8%	-10.8%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
52.9%	52.9%	0.0%	54.5%	26.5%	-28.1%			

## ■概況 ※( )内はDI値

製造業全体の業況判断DIは前回調査時より17.5ポイント上昇し、改善している。

売上金額については22.9ポイント上昇し、同様に改善傾向(-2.7%)となった。

原材料価格についても前回調査時と比較して18.2ポイント低下し悪化傾向(-54.1%)となった。

一方で収益については、前回比で6.6ポイント上昇し、悪化傾向(-21.6%)を示した。

上記により資金繰りについては前回調査時より17.8ポイント低下したものの、良化傾向(2.7%)を維持した。  
なお、借入によって資金調達を行った先は全体の52.9%であり、前回と変わりなし。

前年同期比売上は前回より21.2ポイントの上昇となり、良化傾向(13.5%)に転じた。

また、同収益も前回調査時より15.8ポイントの上昇が見られたが、良化傾向(8.1%)に転じた。

残業時間については前回比3.3ポイント上昇し、良化傾向を維持した。

人材については10.8ポイント低下し悪化傾向(-10.8%)となった。

なお、設備投資を行った先は全体の26.5%で、前回より28.1ポイント低下している。

## ■経営上の問題点

経営上の問題点として「原材料高騰」が28社で最も多く、次点で「売上停滞・減少」が16社、「利益幅の縮小」が12社と続いた。

## ■当面の重点経営施策

依然、対策としては「販路拡大」が最も多く、24社で重点施策とされている。次いで「商品性の拡大」10社「経費削減」が21社となっている。

■特別調査	アフターコロナに向けて重視する経営施策、および今後3ヶ月の業績見込みについて
アフターコロナを見据えた経営で重視する点について	(1)人材育成の強化8社 (2)デジタルを活用した業務プロセスの改善5社 (3)既存事業・製品・サービスの改良12社 (4)財務体質の強化13社 (5)新規取引先や新たな販売チャネルの開拓20社 (6)その他0社
信用金庫に求めること	(1)融資スタンス15社 (2)地域情報5社 (3)業界動向7社 (4)事業課題の共有・相談14社 (5)補助金等の情報13社 (6)事業回復に向けてのビジネスマッチング10社 (7)その他0社
業績(10-12月見込み)	「良い」3社、「やや良い」8社、「普通」22社、「やや悪い」5社、「悪い」0社
売上額(10-12月見込み)	「良い」3社、「やや良い」7社、「普通」23社、「やや悪い」5社、「悪い」0社
収益(10-12月見込み)	「良い」3社、「やや良い」7社、「普通」21社、「やや悪い」7社、「悪い」0社

新型コロナウイルス感染状況は落ち着きをみせ、業況・売上・収益等様々なDIは軒並みポイント上昇となり

ました。資金繰りDIは18%程度低下しており、コロナ対策融資での資金調達の動きは一段落したと思われる。

製造商品によっては国内需要が増加していることから、今後の業績見通しが前回調査時には無かった「良い」の回答を行った企業も一定数存在しており、業況改善傾向がうかがえる結果となりました。

業種別  
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
11.8%	23.5%	11.8%	11.8%	17.6%	5.9%	11.8%	23.5%	11.8%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
17.6%	47.1%	29.4%	17.6%	41.2%	23.5%	23.5%	41.2%	17.6%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
11.8%	5.9%	-5.9%	0.0%	5.9%	5.9%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
66.7%	64.7%	-2.0%	6.3%	23.5%	17.3%			

## ■概況 ※( )内はDI値

不動産業全体の業況判断DIは前回調査時より11.8ポイント上昇し、良化傾向(11.8%)を維持。

売上についても5.9ポイント上昇し、良化傾向(17.6%)を維持。

収益についても同様に11.8ポイント上昇し、良化傾向(23.5%)を維持。

仕入れ価格は前回調査時より17.6ポイント上昇したものの、悪化傾向(-5.9%)を示した。

資金繰りについては29.4ポイント上昇し、良化傾向(47.1%)を示した。

借入によって資金調達を行った先は全体の64.7%であり、ほぼ横ばい。

前年同期比売上は、23.5ポイント上昇し、良化傾向(41.2%)に転じた。

同収益についても、17.6ポイント上昇し良化傾向(41.2%)となった。

残業時間については前回調査時から5.9ポイント低下したが、良化傾向(5.9%)を維持した。

人材については5.9ポイント上昇し、良化傾向(5.9%)に転じた。

設備投資実施企業は17.3ポイント上昇となった。

## ■経営上の問題点

経営課題としては、「商圏人口の減少」が6社でトップとなり、次点で「在庫調整」が5社と続いた。

## ■当面の重点経営施策

当面の対策は「情報力の強化」が8社と最も多かった。次点で「経費削減」「商品性の拡大」が5社と続いている。

■特別調査	アフターコロナに向けて重視する経営施策、および今後3ヶ月の業績見込みについて
アフターコロナを見据えた経営で重視する点について	(1)人材育成の強化4社 (2)デジタルを活用した業務プロセスの改善1社 (3)既存事業・製品・サービスの改良3社 (4)財務体質の強化5社 (5)新規取引先や新たな販売チャネルの開拓6社 (6)その他0社
信用金庫に求めること	(1)融資スタンス7社 (2)地域情報11社 (3)業界動向1社 (4)事業課題の共有・相談5社 (5)補助金等の情報2社 (6)事業回復に向けてのビジネスマッチング0社 (7)その他0社
業績(10-12月見込み)	「良い」1社、「やや良い」6社、「普通」8社、「やや悪い」2社、「悪い」0社
売上額(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」6社、「普通」8社、「やや悪い」2社、「悪い」0社
収益(10-12月見込み)	「良い」1社、「やや良い」6社、「普通」8社、「やや悪い」2社、「悪い」0社
<p>不動産業は業況・売上・収益等様々なDIが改善されました。</p> <p>資金繰りDIも前回調査より大幅に改善しており、コロナ対策融資での資金調達が行き届いたと思われる。また、設備投資も徐々に回復してきており、他の業種よりも従来の経済活動に戻りが早い傾向がみられました。</p> <p>今後の業績見通しが「良い」の回答を行った企業も前回と比べ増えている傾向が確認されました。</p>	

サービス業	対象先 14	回答先 14	回答率 100.0%
-------	--------	--------	------------

業種別  
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-35.7%	-28.6%	7.1%	-42.9%	-28.6%	14.3%	-35.7%	-28.6%	7.1%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
28.6%	14.3%	-14.3%	21.4%	28.6%	7.1%	28.6%	7.1%	-21.4%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
21.4%	0.0%	-21.4%	7.1%	0.0%	-7.1%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
50.0%	42.9%	-7.1%	41.7%	35.7%	-6.0%			

■概況 ※( )内はDI値

医療・福祉を除くサービス業の業況判断DIは前回調査時から7.1ポイント上昇したものの、前回調査同様に悪化傾向(-28.6%)を示した。  
 売上金額についても、14.3ポイント上昇したが、悪化傾向(-28.6%)となった。  
 収益についても同様に7.1ポイント上昇したが、悪化傾向(-28.6%)となった。  
 一方で材料価格については、前回同様横ばいの推移となり中立を示した。

前年同期比売上は前回調査時から7.1ポイント上昇し、前回調査時と同様に良化傾向(28.6%)となった。  
 同収益については21.4ポイント低下し、良化傾向(7.1%)を示した。  
 人材については、7.1ポイント低下し、中立に転じた。  
 残業時間については21.4ポイント低下したが、中立に転じた。

資金繰りは良化傾向を維持し、借入によって資金調達を行った先は42.9%であった。  
 設備投資を行った先は全体の35.7%であり、前回調査時より減少した。

■経営上の問題点

新型コロナウイルスの影響が続いており「売上停滞・減少」が7社で最も多く、「同業者競争の激化」6社、「人手不足」「料金価格」が4社と続いた。

■当面の重点経営施策

当面の重点経営施策は「経費削減」「情報力の強化」と考えている企業がそれぞれ7社と最も多く、次点で「販路拡大」が6社と続いた。

■特別調査	アフターコロナに向けて重視する経営施策、および今後3ヶ月の業績見込みについて
アフターコロナを見据えた経営で重視する点について	(1)人材育成の強化5社 (2)デジタルを活用した業務プロセスの改善3社 (3)既存事業・製品・サービスの改良5社 (4)財務体質の強化7社 (5)新規取引先や新たな販売チャネルの開拓2社 (6)その他0社
信用金庫に求めること	(1)融資スタンス6社 (2)地域情報6社 (3)業界動向3社 (4)事業課題の共有・相談4社 (5)補助金等の情報3社 (6)事業回復に向けてのビジネスマッチング2社 (7)その他0社
業績(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」3社、「普通」6社、「やや悪い」4社、「悪い」1社
売上額(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」4社、「普通」5社、「やや悪い」4社、「悪い」1社
収益(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」4社、「普通」5社、「やや悪い」4社、「悪い」1社

新型コロナウイルスの影響が大きく、業況・売上・収益等様々なDIは前回より改善されているものの、未だ悪化傾向にあります。また、資金繰りDIについてはコロナ融資等、据置期間を終え返済開始となって企業も出てきており  
 前回時より悪化傾向にあります。  
 新型コロナウイルス収束後に向けて財務体質の強化を経営課題として挙げる企業が最も多い結果となりました。

業種別  
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-3.4%	-3.2%	0.2%	6.9%	0.0%	-6.9%	-3.4%	-12.9%	-9.5%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
3.4%	3.2%	-0.2%	3.4%	6.5%	3.0%	6.9%	16.1%	9.2%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
24.1%	19.4%	-4.8%	3.4%	12.9%	9.5%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
28.6%	53.3%	24.8%	17.9%	23.3%	5.5%			

## ■概況 ※( )内はDI値

卸売・小売業全体の業況判断DIは前回調査時と横ばいに推移しており悪化傾向(-3.2%)を維持。売上に関しては6.9ポイント低下し、中立に転じた。収益については、悪化傾向(-12.9%)を継続する結果となった。

仕入れ価格については、前回調査時より-29.0ポイント低下し悪化傾向(-22.1%)を示した。在庫については前回比で9.7ポイントの低下となり悪化傾向に転じた。

前年同期比売上については、3.0ポイント上昇し、良化傾向(6.5%)を維持。

また、同収益についても9.2ポイント上昇し、良化傾向(16.1%)に転じた。

人材については9.5ポイント上昇し、良化傾向(12.9%)を維持。

残業時間については前回調査時より4.8ポイント低下したものの、良化傾向(19.4%)を維持した。

なお、借入によって資金調達を行った先は全体の53.3%と大幅増となった。

設備投資割合については、23.3%と、5.5ポイントの上昇となった。

## ■経営上の問題点

「売上停滞・減少」が10社で最も多く、前回同様一番多い回答となった。

次点で「利益幅の縮小」が7社と続いた。

## ■当面の重点経営施策

「販路拡大」が18社でトップ。次点は「経費節減」が14社、「社員教育」が10社と続いた。

■特別調査	アフターコロナに向けて重視する経営施策、および今後3ヶ月の業績見込みについて
アフターコロナを見据えた経営で重視する点について	(1)人材育成の強化11社 (2)デジタルを活用した業務プロセスの改善8社 (3)既存事業・製品・サービスの改良8社 (4)財務体質の強化7社 (5)新規取引先や新たな販売チャネルの開拓8社 (6)その他0社
信用金庫に求めること	(1)融資スタンス12社 (2)地域情報7社 (3)業界動向4社 (4)事業課題の共有・相談13社 (5)補助金等の情報2社 (6)事業回復に向けてのビジネスマッチング2社 (7)その他1社
業績(10-12月見込み)	「良い」1社、「やや良い」9社、「普通」17社、「やや悪い」3社、「悪い」0社
売上額(10-12月見込み)	「良い」1社、「やや良い」9社、「普通」19社、「やや悪い」1社、「悪い」0社
収益(10-12月見込み)	「良い」1社、「やや良い」7社、「普通」21社、「やや悪い」1社、「悪い」0社

前回調査時より、業況・売上金額・収益DIが悪化傾向となりました。一方で前年対比で見ると、コロナウィルスの影響は未だ続いておりますが、昨年度より売上・収益共に改善傾向となりました。

業績見込みについては「良い」と回答する企業も一部出てきており、少しずつではありますが改善の兆しがみられます。

また、信用金庫に求めることとして「事業課題の共有・相談」がトップとなりました。

業種別  
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
50.0%	21.4%	-28.6%	50.0%	7.1%	-42.9%	42.9%	0.0%	-42.9%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
42.9%	28.6%	-14.3%	42.9%	14.3%	-28.6%	35.7%	14.3%	-21.4%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
14.3%	-7.1%	-21.4%	0.0%	-28.6%	-28.6%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
50.0%	57.1%	7.1%	28.6%	50.0%	21.4%			

## ■概況 ※( )内はDI値

建設業全体の業況判断DIは前回調査時から28.6ポイント低下したものの、良化傾向(21.4%)を維持した。売上金額は一方で42.9ポイント低下したものの、良化傾向(7.1%)を維持。受注残高と施工高は前回調査時よりも低下したものの、良化傾向を維持した。収益については、前回調査時から42.9%低下し中立に転じた。

資金繰りについては、前回調査時より14.3ポイント低下したものの、良化傾向(28.6%)を維持した。前年同期比売上は前回から28.6ポイント低下し、良化傾向(14.3%)を維持した。同収益についても、前回調査時から21.4ポイント低下したが良化傾向(14.3%)を維持した。

残業時間については前回から21.4ポイント低下し、悪化傾向(-7.1%)に転じた。人材については前回調査時から28.6ポイント低下し悪化傾向に転じた。借入により資金調達を行った先は57.1%であり、引き続き高い借入実施率を示した。設備投資を行った先は、前回から21.4ポイント上昇し50.0%であった。

## ■経営上の問題点

「原材料高」が11社と最も多く、次いで「人手不足」が8社と続いた。原材料高などが経営に大きな影響を与えていると考えられる。

## ■当面の重点経営施策

「人材確保」が7社で最も多く、次点で、「社員教育」が5社と続いた。

■特別調査	アフターコロナに向けて重視する経営施策、および今後3ヶ月の業績見込みについて
アフターコロナを見据えた経営で重視する点について	(1)人材育成の強化8社 (2)デジタルを活用した業務プロセスの改善0社 (3)既存事業・製品・サービスの改良2社 (4)財務体質の強化4社 (5)新規取引先や新たな販売チャネルの開拓5社 (6)その他0社
信用金庫に求めること	(1)融資スタンス5社 (2)地域情報6社 (3)業界動向1社 (4)事業課題の共有・相談7社 (5)補助金等の情報6社 (6)事業回復に向けてのビジネスマッチング2社 (7)その他0社
業績(10-12月見込み)	「良い」1社、「やや良い」2社、「普通」10社、「やや悪い」1社、「悪い」0社
売上額(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」3社、「普通」10社、「やや悪い」1社、「悪い」0社
収益(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」3社、「普通」10社、「やや悪い」1社、「悪い」0社
新型コロナウイルスの影響を受けて業況・売上・収益等様々なDIが前回調査時よりも低下したものの、良化傾向を維持しました。 借入実施についても積極的に行っており、資金繰りについても問題なく推移している模様です。 経営上の問題点として「原材料高」と回答した企業の割合が建設業は最も多く、経営に大きな影響を与えていると考えられます。	

業種別  
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-50.0%	-11.1%	38.9%	-25.0%	11.1%	36.1%	-50.0%	-11.1%	38.9%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
37.5%	11.1%	-26.4%	-25.0%	22.2%	47.2%	-25.0%	22.2%	47.2%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
12.5%	11.1%	-1.4%	50.0%	0.0%	-50.0%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
50.0%	37.5%	-12.5%	25.0%	50.0%	25.0%			

## ■概況 ※( )内はDI値

運輸業全体の業況判断DIは前回調査時より38.9ポイント改善したものの、悪化傾向(-11.1%)となった。売上金額も前回から36.1ポイント改善し、良化傾向(11.1%)に転じた。収益については38.9ポイント低下し、悪化傾向(-11.1%)を維持することとなった。

資金繰りについては前回調査時から26.4ポイント低下したものの、良化傾向(11.1%)となった。

借入によって資金調達を行った先は全体の37.5%であり、前回より12.5ポイントの減少となった。なお、設備投資を行った先は50.0%で、前回から25.0ポイントの上昇となった。

前年同期比売上は前回より47.2ポイント上昇し、良化傾向(22.2%)に転じた。同収益についても、47.2ポイント上昇し、良化傾向(22.2%)に転じた。

人材については前回より50.0ポイント低下し、中立に転じた。残業時間については、前回調査時からほぼ横ばいの推移となった。

## ■経営上の問題点

「経費の増加」が5社で最も多かった。経費の増加や人件費の増加が経営に大きな影響を与えていると考えられる。

## ■当面の重点経営施策

「販路拡大」が5社で最も多く、次点で「新規開拓」が5社と続いた。

■特別調査	アフターコロナに向けて重視する経営施策、および今後3ヶ月の業績見込みについて
アフターコロナを見据えた経営で重視する点について	(1)人材育成の強化4社 (2)デジタルを活用した業務プロセスの改善2社 (3)既存事業・製品・サービスの改良2社 (4)財務体質の強化2社 (5)新規取引先や新たな販売チャネルの開拓5社 (6)その他0社
信用金庫に求めること	(1)融資スタンス5社 (2)地域情報1社 (3)業界動向3社 (4)事業課題の共有・相談2社 (5)補助金等の情報2社 (6)事業回復に向けてのビジネスマッチング0社 (7)その他0社
業績(10-12月見込み)	「良い」1社、「やや良い」3社、「普通」4社、「やや悪い」1社、「悪い」0社
売上額(10-12月見込み)	「良い」1社、「やや良い」3社、「普通」4社、「やや悪い」1社、「悪い」0社
収益(10-12月見込み)	「良い」1社、「やや良い」2社、「普通」5社、「やや悪い」0社、「悪い」1社
<p>売上DIは、36.1ポイント改善し、良化傾向に転じたものの、一方で収益DIは38.9ポイント低下し悪化傾向を維持しました。また、経営上の問題点として「経費の増加」をあげる企業が最も多く、利益幅の縮小が影響を与えている可能性があります。</p> <p>10-12月業績見込みについては前回調査時よりも売上額・収益含め「良い」「やや良い」と回答する企業が増加しました。</p>	

業種別  
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-20.0%	16.7%	36.7%	-30.0%	41.7%	71.7%	-30.0%	25.0%	55.0%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
10.0%	41.7%	31.7%	30.0%	50.0%	20.0%	30.0%	58.3%	28.3%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
0.0%	16.7%	16.7%	10.0%	-16.7%	-26.7%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
54.5%	36.4%	-18.2%	18.2%	70.0%	51.8%			

## ■概況 ※( )内はDI値

医療・福祉分野の業況判断DIは前回調査時より36.7ポイント上昇し良化傾向(16.7%)に転じた。売上金額についても71.7ポイントと大幅に上昇し、良化傾向(41.7%)に転じた。また、ベツ稼働率については41.7ポイント上昇したが、悪化傾向(-8.3%)となった。通院者数については前回から20.0ポイント上昇し、中立となった。収益についても前回調査より55.0ポイント上昇し、良化傾向(25.0%)に転じた。

資金繰りについては、前回より31.7ポイント上昇し良化傾向(41.7%)を維持した。借入によって資金調達を行った先は全体の36.4%であり、前回から18.2ポイントの低下となった。設備投資を行った先は70.0%と51.8ポイント上昇した。

前年同期比売上は前回調査時から20.0ポイントと上昇し、良化傾向(50.0%)を維持。同収益についても同様に、28.3ポイント上昇し、良化傾向(58.3%)を維持。残業時間は前回から16.7%上昇し、良化傾向(16.7%)。人材についても前回から26.7ポイント低下し、悪化傾向(-16.7%)に転じた。

## ■経営上の問題点

「人手不足」が最も多く4社であった。次点で「売上停滞・減少」「商圏人口の減少」と続いた。

## ■当面の重点経営施策

「人材確保」が7社で最も多かった。次点で「経費削減」が3社と続いた。

■特別調査	アフターコロナに向けて重視する経営施策、および今後3ヶ月の業績見込みについて
アフターコロナを見据えた経営で重視する点について	(1)人材育成の強化4社 (2)デジタルを活用した業務プロセスの改善6社 (3)既存事業・製品・サービスの改良1社 (4)財務体質の強化3社 (5)新規取引先や新たな販売チャネルの開拓1社 (6)その他0社
信用金庫に求めること	(1)融資スタンス5社 (2)地域情報5社 (3)業界動向0社 (4)事業課題の共有・相談3社 (5)補助金等の情報1社 (6)事業回復に向けてのビジネスマッチング0社 (7)その他0社
業績(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」3社、「普通」8社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
売上額(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」2社、「普通」9社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
収益(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」2社、「普通」9社、「やや悪い」0社、「悪い」0社

ワクチン供給が普及されたこともあり、前回調査時より全面的に数値は改善されており業況・売上金額・収益DIは良化傾向に転じることとなりました。

一方で人材DIは悪化傾向に転じており「人手不足」が経営上の問題点としてあげられます。また、アフターコロナを見据えた経営重点施策については「デジタルを活用した業務プロセスの改善」と回答する企業が最も多い結果となりました。